



佐倉市議会

だより

2025

< 令和7年 >

11 | 01

No. 118



佐倉くらのすけ

8月 定例会

令和6年度決算・令和7年度補正予算など 市長提出議案42件を認定・可決・同意

京成佐倉駅バリアフリー設備整備費補助事業に係る補正予算など

佐倉市議会は、8月25日から9月24日までの31日間にわたり、令和7年8月定例会を開催しました。今定例会では、市長から「令和6年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」など議案42件が提出され、審議の結果、認定・

可決・同意しました。議員提出議案は、「事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書」など10件が提出され、審議しました。また、一般質問には、各会派の代表質問に7人、個人質問に9人が登壇し、市政に対する質問を行いました。

8月定例会 議案

市長提出議案 42件
議員提出議案 10件

※賛否・詳細は6頁を参照

決算審査 特別 委員会

令和6年度 各会計決算9議案を認定

今定例会では、令和6年度の各会計決算9議案を審査するため8月25日決算審査特別委員会を設置し、9月16日から19日の4日間、担当部課長などからの

説明と質疑により詳細把握に努め、慎重に審査しました。定例会最終日には、爲田浩委員長から審査結果の報告があり次の5点について要望しました。



決算審査特別委員会委員(◎委員長 ○副委員長)
長谷川泰弘、密本成章、山本英司、三井義文、石井 昇、三谷英継、
徳永由美子、高木大輔、◎爲田 浩、○押木孝和、五十嵐智美、斎藤明美

要望

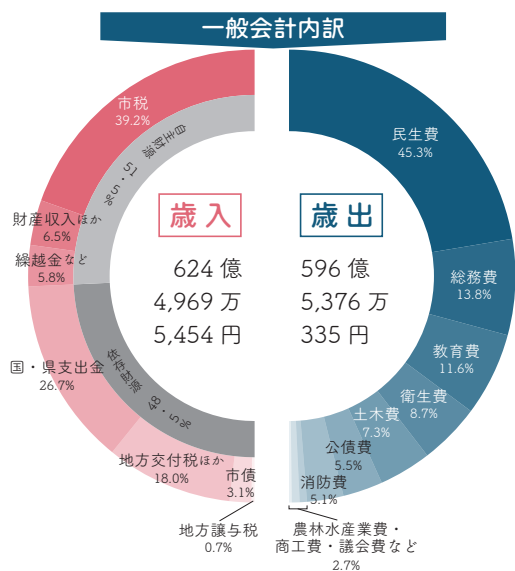
- ①企業誘致・公民連携推進室の設置により窓口が一本化され、情報取得の迅速化と企業誘致の可能性拡大が図られた。今後は、成田空港という国家的インフラを生かし、本市の優位性を最大限に発揮した戦略的・積極的な企業誘致政策の推進を強く要望する。
- ②市制施行70周年記念事業では、5つの県立学校との包括連携協定に基づき生徒が参画し、若い力が地域に根付き始める契機となった。今後もまちづくりに主体的に取り組める

環境づくりを進めていただきたい。

- ③介護人材の確保と業務効率化は、介護人材不足という深刻な課題の解決に向けた重要な取り組みである。今後も多くの人材が確保されるよう努めていただきたい。また、介護現場へのデジタル化の導入支援を通じて業務の効率化を図り、負担軽減とサービスの質の向上につなげていただきたい。
- ④気候変動対策であるESCO事業やバイオ炭事業など、CO₂削減に向けた緩和策は高く評価する。今後は近年の異常気象の頻発を踏まえた適応策も重要であることから、対

策室が中心となり、グリーンインフラの視点で施策を明確化し、庁内関係部署や国県等と連携し、着実に取り組んでいただきたい。

- ⑤行政サービスにおけるデジタル技術の活用については、行政手続の見直しとオンライン化の拡充を進めるとともに、デジタルハンドブックや高齢者の方を対象としたスマートフォン講習会などを通じて、デジタル格差の解消と市民啓発に努めていただきたい。あわせて、多様な市民ニーズに応えるため、新たなデジタルサービスの実現に向けた取り組みも検討していただきたい。



令和6年度各会計の決算額

会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入	歳出	差引
①一般会計	624億4,969万5,454円	596億5,376万335円	27億9,593万5,119円
②国民健康保険	169億4,968万9,406円	169億2,783万4,008円	2,185万5,398円
③公共用地取得事業	17万2,141円	17万2,141円	0円
④農業集落排水事業	2,604万787円	2,604万787円	0円
⑤介護保険	154億7,310万1,260円	150億9,906万4,970円	3億7,403万6,290円
⑥災害共済事業	510万6,814円	68万5,199円	442万1,615円
⑦後期高齢者医療	35億3,042万7,242円	35億1,110万5,882円	1,932万1,360円
⑧水道事業会計	38億4,098万119円	36億8,351万2,156円	1億5,746万7,963円
⑨下水道事業会計	37億5,679万3,197円	34億1,796万628円	3億3,883万2,569円
⑩下水道事業会計	2億1,721万2,534円	6億9,163万1,897円	4億7,441万9,363円

※1 税抜き ※2 税込み

佐倉市議会ホームページ



一般質問

8月定例会では、9月1日から4日までの4日間にわたり一般質問を行いました。
市政に対し、活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

一般質問通告要旨

※は持ち時間 60 分、それ以外は 30 分。() 内は会派名。
通告内容は、質問者が議長に文書で通告した内容のうち、実際に質問した大項目を掲載しています。

代表質問

敷根文裕 (さくら会)※	①市長の政治姿勢／②子育て支援・教育が充実したまちづくり／③地域の活性化について／④安心して暮らし続けることができるまちづくり／⑤当面の課題
長谷川泰弘 (公明党)※	①市長の政治姿勢について／②安心・安全なまちづくりについて／③福祉の充実について／④市民サービスの充実について
橋岡協美 (自由民主さくら)※	①令和6年度決算総括／②成田空港機能拡張と市街化調整区域／③期日前移動投票所／④地籍調査と市道内民地／⑤教育課題について／⑥少子化対策について
松島 梢 (市民ネットワーク)	①佐倉市におけるこれからの学校のあり方について／②佐倉市部活動地域指導事業について／③小中学校のICT教育について／④地球温暖化対策について
石井 昇 (日本共産党)	①小中学校の修学旅行積立金について／②就学援助制度に関わって、保護者負担の軽減について／③生活保護制度の充実について／④低所得世帯への酷暑対策について／⑤高齢者福祉の推進について
三谷英継 (公開と改革)	①屋外公共施設等の活用、課題について／②当面の課題について
三井義文 (無会派の会)	①消費税減税による市財政への影響について／②第2次佐倉市環境基本計画の進捗について／③市民の健康と生活環境の保全

個人質問

徳永由美子 (自由民主さくら)	①福祉関連施策について／②大手門跡広場の活用について／③医療的ケア児／④こども若者参画について／⑤不登校児童生徒の選択肢を広げる取り組み
齋藤寛之 (さくら会)	①市長の政治姿勢／②佐倉市の教育／③環境対策／④防災減災
宇田みおこ (無会派の会)	①佐倉市城址公園の整備／②学童保育待機児童の現状と課題／③佐倉市のごみの今後の在り方
押木孝和 (公明党)	①佐倉の人口誘致戦略について／②猛暑期の子ども居場所政策について／③市民に寄り添う行政体制の構築について
伊藤とし子 (市民ネットワーク)	①誰もが健やかに暮らせる環境づくりについて／②市民サービスの向上について／③子ども支援について
五十嵐智美 (市民ネットワーク)	①水道事業について／②図書館の在り方について／③教育環境の整備について
木崎俊行 (日本共産党)	①選挙投票について／②平和条例30年、核兵器廃絶の取り組みについて／③「公共施設再配置方針」について／④ふるさと広場の拡張整備に対する市民の期待と不安について
稲田敏昭	①平和事業について／②京成佐倉駅北口エレベーター設置について／③会計年度任用職員について／④部活動の地域移行について／⑤街路樹等について
高橋とみお (公開と改革)	①行政の姿勢と制度／②外国人政策／③当面の課題

代表質問



さくら会
しぎね ふみひろ
敷根文裕



人口減少・少子化対策について
問 佐倉市は、2040年には人口が約13万2千人、高齢化率は約40%と人口減少、高齢化が加速すると見込まれている。地域の持続性や福祉サービスの維持に関わる重大な課題と捉え、市としてどう対応するのか。
答 本年4月、企画政策課の事務分掌に「少子化対策」を位置付けた。今後は関係機関と連携し、施策の見直しや新たな支援策、その周知方法の検討を進める。
佐倉ふるさと広場について
問 ふるさと広場の拡張整備にかかる事業費と財源の内訳、整備後のビジョンを伺う。
答 総事業費は約21億1910万円で、パークPFI事業者や補助金等を活用し、一般財源の負担は約1億円。誰もが楽しめる交流・観光拠点を目指す。
市内OB・OGの教育資源化について
問 甲子園で活躍、インターハイ優勝、文部科学大臣賞など活躍された方々がいる。市内小中学校出身でスポーツや文化分野で活躍するOB・OGを教育活動に生かすことで、子どもたちに夢や希望を届ける取り組みができるのではないかと考える。デー

タベース化などを含め市の見解を伺う。
答 キャリア教育や部活動での紹介や連携事例があり、今後も推進していく。各分野で活躍するOB・OGの存在は、子どもたちに大きな影響を与える。データベース化については、関係部局と協議する。
岩富緑地を含む産業用地の可能性について
問 成田空港の機能強化などを受け、企業誘致や雇用創出につながる産業用地整備が重要と考える。岩富緑地を含む今年度の可能性調査の狙いと今後の方針を伺う。
答 佐倉IC周辺や工業団地隣接地を対象に適地抽出を行い、岩富緑地もその一つ。調査結果を基に整備の妥当性や課題を整理し、将来的な活用の方向性を検討する。
環境汚染・ヤード対策について
問 市内で増加する金属スクラップや廃プラスチックヤード等に対し、騒音・粉じんなど住民からの苦情が出ている。市民の安心と安全のため、市の具体的な対応を伺う。
答 県警や関係部署と連携し、ヘリによる上空確認も実施。不法か有価物かの判断が難しく、市単独での規制には限界があるが、関係機関と連携し、粘り強く対応する。



公明党
はせがわ やすひろ
長谷川泰弘



令和6年度決算について

問 長引く物価高騰やエネルギー高騰をはじめ、労務単価の上昇や公共施設の老朽化対策など、財政状況はさらに厳しくなるものと想定している。このような財政状況において、今後、どのように財源を確保し、健全な財政運営を進めていくのか伺う。
答 国・県からの各種交付金や、財政上有利な地方債の活用など、財源の確保に努めるとともに、事務事業の見直しを推進し、健全な財政運営に努める。
安心・安全なまちづくりについて
問 3月の予算審査特別委員会で、私の質問に対し、西部保健福祉センターの妊産婦等福祉避難所用に簡易ベッドを整備するとの答弁があったが、赤ちゃん用簡易ベッドの整備は、どのような状況か伺う。
答 赤ちゃん用簡易ベッドについては、乳児の安全性や快適性など総合的に考慮し、段ボールベッドを整備することとし、受け入れ想定人数である36人分を調達中であり、9月中をめどに整備を進めている。
福祉の充実について
問 最近、認知症ケア支援VRという新しい技術を活用した認知症対策の取り組みが始まっている。認知症の理解促進、ケアの質向上が期待できる認知症ケア支援VRを市でも導入してはどうか、見解を伺う。
答 市内の薬局が開催した認知症普及啓発イベントにおいて、VRの体験を行った。体験された市民の方々から好評を得ている

ことから、今後も活用について検討する。

市民サービス向上について

問 古い教育用タブレット端末に翻訳アプリを導入し、窓口対応や各種相談業務等において、活用することで、窓口サービスの向上につながると考えるが見解を伺う。

答 外国人住民等の増加に伴い、行政窓口における円滑なコミュニケーションを支援できるものとする。全ての市民の方が、必要な行政サービスを適切に受けられるよう、運用に向けた活用方法を検討する。

問 井野町会館に代わり、民間施設や空き店舗等を活用し投票所を設置してはどうか、見解を伺う。

答 空き店舗等を活用した新しい投票所の予定はないが、投票環境の整備に努める見地から、引き続きさまざまに研究していく。



自由民主さくら

はしおか きょうみ
橋岡協美



赤字決算の要因について

問 実質単年度収支が約 11 億 7 千万円の赤字決算となった要因を伺う。

答 社会保障関係費の大幅な増加、職員人件費の増加に加え、国庫補助事業等の精算に伴う返還金が多く発生したことによる。

成田空港機能拡張工事と人口増の見込み

問 空港機能拡張が人口増加のチャンスである理由を市長に伺う。

答 空港関連従事者等の増加に伴い、移住希望の高まりが想定される。

問 住宅需要の増加に対する施策を伺う。

答 都市マスタープランにおいて駅周辺市街化調整区域に、地区計画制度等を適用し、都市的土地利用の整備を誘導する方針を盛り込むよう現在千葉県と協議を進めている。

移動期日前投票所と駅投票所設置について

問 期日前投票所での投票率を伺う。

答 7月の参議院議員選挙では、期日前投票所での投票率は全体の 48.9%であった。

問 投票所への移動困難者のために、移動期日前投票所の導入を検討するか伺う。

答 導入は現在予定にないが、補助金や交付金の活用も含め、引き続き研究していく。

問 駅前投票所の設置を検討するか伺う。

答 設置は現在予定にはないが、利便性が図られるよう研究を継続していく。

地籍調査と佐倉市道内の民有地について

問 地籍調査を行わないことによるリスクを将来の課題としてどう捉えているのか。

答 相続未登記や所有者不明土地については、境界を巡る紛争や公共事業の停滞、適正な課税の困難化の要因になる。高齢化の進展により、さらに増えることが懸念され行政運営上の課題となると認識している。

問 市の実質負担を総事業費の約一割に抑えられる国の地籍調査費負担金を活用して調査を進めてこなかった理由を伺う。

答 土地取引や、日常的な行政手続きに大きな支障がなく実施を見合わせてきた。

問 市道内の未登記民有地への対応を伺う。

答 当該土地所有者への丁寧な説明で寄付していただけるように努める。

子育て支援の利用者支援事業について

問 妊婦や保護者への相談支援を行う民間事業者の補助金に上乘せされる出張相談の加算条件を見直すことはできないか伺う。

答 状況等を踏まえ必要に応じて検討する。



市民ネットワーク

まつしま こずえ
松島 梢



これからの学校のあり方について

問 佐倉市が目指す学校教育を実現していくための方針の一つが、小中一貫教育の推進である。なぜ小中一貫教育を目指すのか。

答 中1ギャップの解消など、さまざまな課題の解決に効果的であると認識しているため。

問 学校のあり方懇話会では、特に小学校で教員不足の厳しい現状が訴えられた。単学級が増え、県から配置される教員の数も減り、1人の教員の負担が大きくなる。教員不足に対し、どのような対策が必要か。

答 働き方改革の推進や学校統合により、一定の学校規模を確保する必要がある。

部活動地域指導事業について

問 今後、指導者に適切な報酬を支払うため、参加費を自己負担とする方針だが、経済的な理由で参加できない生徒が出てくることも考えられる。市の見解を伺う。

答 国、県の動向や近隣市町の状況を注視し、引き続き検討を重ねていく。

小中校のICT教育について

問 文科省が実施した、小6と中3対象の全国学力学習状況調査の結果が7月に公表された。結果は前回を下回り、特に思考力や判断力、表現力を問う記述式の問題が低い結果である。これはデジタル教育による思考力の低下などが表れていると考えられる。タブレット活用に重きを置くよりも、まずは手書きで基礎学力を身に付けることが重要と考えるが、市の見解を伺う。

答 紙とデジタルをバランスよく組み合わせることで、基礎学力の向上を目指す。



日本共産党

いしい のぼる
石井 昇



教育費保護者負担軽減について

問 就学援助制度の支給費目に生徒会費は

含まれていないが、中学校の生徒会費の徴収額は年間いくらか。

答 市内中学校、年間平均 2356 円である。

問 生徒会費の主な支出内容は何か。

答 生徒会行事や委員会活動、部活動の費用が挙げられる。

問 支出内訳の約 9 割が部活動への配分金ではないか。正規の学校行事であり、公費化すべきである。

問 P T A 会費の徴収額は年間いくらか。

答 市内小中学校における各 P T A の徴収額は、年間平均 3597 円である。

問 この P T A 会費の支出項目に、学校の補助財源化しているものがあると認識している。この支出項目や総額など把握しているか。

答 P T A 会費は、学校予算とは明確に別会計として扱われており、学校運営の補助財源として用いられているとの指摘は、制度上当てはまらないと認識している。

問 各学校に確認されたか。

答 詳細な調査をしているわけではない。任意団体の会計であり、特別な指導等は行っていない。

問 総会資料を見れば、学校への寄付であり補助財源化しているお金であることは一目瞭然である。このような費目や総額など、教育委員会として当然把握すべきである。現実を認識していただきたい。P T A 会費について調査を希望する。



公開と改革

みたに ひでつぐ
三谷英継



佐倉ふるさと広場について

問 拡張整備に取り掛かっているが、現状と整備後の面積、駐車台数の計画を伺う。

答 面積は、現在、約 1.4ha、整備後は約 10.2ha へと拡大。駐車場は、現在の一般車用約 20 台、障害者用 2 台に対し、整備後は、一般車用約 450 台、障害者用 5 台、大型車用 6 台を計画している。

問 整備期間中、イベントは継続的に開催されるのか、来場者への影響や制限が生じるのか、整備中であっても柔軟に活用できる仕組みがあるのか、市の見解を伺う。

答 来園者の安全確保を最優先に考慮し、チューリップフェスタをはじめとする、花のイベントについては開催を見合わせる。風車や佐蘭花のある既存広場については、工事の始まる令和 9 年 3 月までは花の植え付けを継続し来園いただけるよう対応を図る。

佐倉城址公園について

問 史跡の発掘調査、保存の具体的な計画、またイベント等での活用と史跡としての保存をどのように両立させていくのかを伺う。

答 市の重要遺跡として位置付けており、土塁や空堀などの正確な形状を把握するため、継続して地形測量を実施し、未調査の部分は、遺跡の内容確認調査等を計画的に実施していく。公園の利用に際しては、都市公園条例等に基づき、施設の損傷につながる行為等を禁止している。イベント等の使用許可に当たり、主催者に対し規定を遵守させ、損傷が生じた場合には原形復旧を許可条件としている。



無会派の会
みつい よしふみ
三井義文



消費税減税による市財政への影響について

問 消費税は社会福祉の特定財源ではなく、他の税と同様に市の一般財源である一方で、消費税は経費支出の負担にもなっているが、仮に消費税が廃止された際にはどうなるか。

答 消費税廃止は、地方消費税交付金の減少になり影響は大きい。

問 消費税の市負担分減少も考慮すべきだ。

第2次佐倉市環境基本計画の進捗について

問 CO₂排出削減の中間目標達成の対策として、他自治体で検討されている新築住宅の太陽光パネル設置義務化を考えるか。

答 現在、市では新築住宅に太陽光発電設備の設置を義務化する考えはない。

問 国がゼロカーボンを達成しても地球気温は0.0065度しか下がらないこと、太陽光設備廃棄問題も考慮し対応いただきたい。

市民の健康と生活環境の保全

問 コロナワクチンの感染予防効果が限定的であることが明白になる中、わが国だけが新たに自己増殖型ワクチン接種を開始するが、新型ワクチンを避ける手段はあるか。

答 医療機関がどのワクチンを使用するか予約時に確認することで選択できると考える。

問 ワクチン接種対象者に、予防接種健康被害認定急増の情報を提供いただきたい。

問 全国で外国人の国民健康保険料等の未納・滞納が問題になっているが市の対応は。

答 現在、国では対策を検討しているが、この問題の早期かつ万全な対応について印旛郡市首長会から国へ要望書を提出した。

問 外国人対策は喫緊の課題と考える。

個人質問



とくなが ゆみこ
徳永由美子
自由民主さくら



通学支援について

問 船橋市では保護者の就労も含めた社会的理由で、他の送迎手段や付き添いが得ら

れない場合も、通学通所に移動支援が利用できる。佐倉市でも条件を緩和して外出支援を使えるようにするべきではないか。

答 佐倉市障害福祉計画等の中間見直し、策定に当たりアンケート調査を実施する予定。需要を把握し、他の地域生活支援事業との優先度を踏まえ、検討していく。

インクルーシブ公園について

問 公園遊具の老朽化の際はユニバーサルに置き換えていくことも提案してきたが、具体的に導入は決まっているか。

答 インクルーシブデザインに配慮して、車椅子利用者の方でも利用できる複合遊具を七井戸公園に設置する他、乳幼児と保護者などが一緒に利用できる複数人用ブランコをユーカリが丘南公園に設置する予定。

医療的ケア児ガイドブックについて

問 お子さんの退院時に、この先の子育てに見通しを立てるための支援情報ガイドブックを作成する自治体も増えてきた。佐倉市でも作成するべきではないか。

答 ガイドブックの作成について検討しており、ご家族のご意見を伺いながら実用性の高い内容となるよう努めていく。



さいとう ひろゆき
齋藤寛之
さくら会



外国語教育について

問 王子台小学校で小学校1年生から行われている外国語教育の内容と効果について伺う。

答 1、2年生において年間20時間の外国語活動を実施しており、挨拶や数字などの簡単な語彙を使ったゲームなどを行っている。効果として、3年生からの外国語活動へスムーズに移行することができる。また、全教員が外国語教育の研修を行うことで、指導力の向上が見られるなど、実践に対する成果を実感している。

問 これからの学校のあり方に係るアンケート調査の中では、英語教育に力を入れていくのが望ましいとの回答が、保護者、市民ともに1位となっている。この結果からも、王子台小学校での取り組みを参考に、小学校1年生からの英語教育導入を市内全校で実施することを要望する。

ICT機器の活用について

問 校務の効率化に向けたICTの活用について今後どのような取り組みを進めていく方針なのか伺う。

答 校務支援システムの機能拡張や自動採点ツールなど、ソフト面の拡充を検討するとともに、活用促進や研修の充実を通じて、現場の実情に即した改善を進めていく。



うだ みおこ
宇田みおこ
無会派の会



観光拠点の強化へ 管理センター改修

問 佐倉城址公園管理センターは、当市おもてなしの玄関口。建て替え等方針を伺う。

答 バリアフリー化など機能向上が必要と認識し、今後必要な改修を検討する。トイレ設置は地形的制約から困難だが、仮設方式等も含め、総合的に検討していく。

夏季休暇中の学童待機児童解消に向けて

問 夏季休暇期間を含む待機児童の現状は。

答 8月1日時点35名、内夏季のみ6名。

問 夏季期間中の受け入れ体制を強化する具体策を検討または実行しているか伺う。

答 同地区内で受け入れ可能な学童保育所を案内するなど体制を整えている。

段ボール回収で負担と公平性の改善へ

問 近隣市で段ボールの個別回収が進む一方、当市では未整備。高齢化や通販の普及で現行体制では不十分と考え、見解を伺う。

答 現行の方法が最も効果的で現実的と判断。情勢を注視し回収方法を調査研究する。

リサイクル文化センター次期整備計画

問 計画内容、予算規模、財源見通しは。

答 清掃組合では現敷地を最適候補地と評価し決定。概算建設工事費は、可燃ごみ245億6900万円、粗大ごみ45億3000万円と試算。財源は国の交付金や地方債を検討中。今年度は基本計画策定、測量調査を予定。



おしき たかより
押木孝和
公明党



佐倉の人口誘致戦略、移住・定住促進と子育て支援強化について

問 市はこれまで多様な定住促進策を講じ、市民の暮らしやすさを高めてきたが、依然として人口は減少傾向にある。人口流入と定住促進を実現するため教育・就業環境の整備、ブランド発信、生活利便性の向上、移住体験の推進、広域連携の推進といった施策が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

答 ご質問の5つの項目に対する施策の具体的な取り組みを含め、中期基本計画が目指す「持続可能なまち・佐倉」の実現に向け、引き続き注力していく。

猛暑期の子ども居場所政策について

問 命と成長の両立を実現する猛暑期の子ども居場所政策の推進こそ、これからの自治体が直面する重要テーマだと思う。図書館、児童館の他、見守りスタッフがいる施設や年齢に応じた絵本・遊具の整備、静かに学習できるコーナーを設けている施設もあるが、あまり知られていない。今後PR

の強化が必要と考えるがいかがか。

答 涼しい屋内で安心して遊べる施設として、老幼の館やヤングプラザなどもある。今後、保護者や子ども達に施設の情報が届くよう、ホームページやSNS等を活用し、積極的に周知していく。



いとう としこ
伊藤とし子

市民ネットワーク



香害・化学物質過敏症対策について

問 合成洗剤、柔軟剤、殺菌剤、消臭剤等が原因で、頭痛、吐き気、倦怠感、動悸、呼吸障害等の体調不良が増加。全国1万人調査で未就学児2%、中学生では13%に症状が出ており、2%は不登校傾向と判明した。保護者の理解が重要だが対応を伺う。

答 保育園ではポスター掲示で保護者に周知し、職員間でも情報共有。また、学校ではポスター掲示と保健だよりなどで周知。

問 保護者へ周知を図るため、学校・保育園の保健調査票に化学物質過敏症の記述欄を設けてほしいがいかがか。

答 保育園は入園申請時に問診票、学校は保健調査票記述欄に記入するよう周知する。

公共施設の総合防除管理状況について

問 佐倉市総合防除基本指針では農薬殺虫剤は有害で、日常的に使用される化学物質も、子供や妊婦だけでなく有害なため、薬剤に頼らない方法での管理が定められている。市庁舎では年2回薬剤を全館一斉散布しているが、極力散布しない方向で管理すべきと考える。見解を伺う。

答 市の総合防除指針を理解している専門業者と協議し決定していく。薬剤情報を市有施設、病害虫等総合防除連絡会において、各所属が共有できる体制を強化していく。



いがらし ともみ
五十嵐智美

市民ネットワーク



今後の水道料金について

問 今議会に提案している水道料金値上げに市民ネットは一般会計からの繰り入れで値上げ回避を提案したが受け入れられず。4年後は受水費を大きく押し上げる霞ヶ浦導水事業関連の費用が入る。今後の料金は。

答 適正な料金の維持に努める。

問 暫定井戸を使い続けるためには県条例での地下水規制問題に取り組む必要がある。県に対し市はどう対応しているか。

答 県知事へ要望書等を提出している。

問 地下水利用が関係するが、霞ヶ浦導水事業からの撤退を検討する余地はあるか。

答 印旛地域全体の合意事項であり、撤退

は困難である。

問 印旛広域の首長たちと撤退を話したか。

答 そのような話は現在していない。

問 市民は地下水を飲み続けたいと望んでいる。しっかり話し合っていたきたい。

佐倉図書館の汚水滞留問題の事業者責任

問 地下に760㎡もの大量のトイレの汚水が溜まり全てが休館。原因事業者との最終的な責任問題の協議内容と結果を伺う。

答 請求の範囲や金額などを協議している。

問 発覚から終結までの過程と責任の在り方を市民に公表する必要がある。見解は。

答 補償問題等の決着後に公表していく。



きざき としゆき
木崎俊行

日本共産党



核兵器禁止条約に日本政府は署名せよ

問 広島・長崎市長は今年強く日本政府に署名を呼びかけた。市長の受け止め方は。西田市長にも独自の発信を望むがどうか。

答 被爆地の市長として強い使命感を持ったもの。私も1月の平和首長会議国内加盟都市会議総会で同趣旨の決議案に賛成した。

問 核兵器廃絶を求めて設立された原水爆禁止佐倉市協議会は、50年以上にわたり市平和都市宣言と平和条例に沿った活動をしている。一昨年より、広島・長崎で行われる原水爆禁止世界大会への市の賛同協力金の支出がなくなったが説明いただきたい。

答 市長交際費の賛助金で支出してきたが、運用基準の見直しから、賛助金項目を削除。

赤字でも図書館の民営化を検討か

問 図書館長が視察した指定管理者制度を導入した他市の市立図書館では、どの市も指定管理者制度でコストカットにはならないとの所感が示された。どう受け止めたか。

答 引き続き直営、指定管理者制度等のさまざまな事例を比較検討する必要がある。

公民館は民主主義の学校。これも民営化か

問 期限の定めがある民間委託はなじまない。社会教育施設の民営化はふさわしいか。

答 民間活力の導入について、メリット・デメリットを整理しながら検討を進める。



いなだ としあき
稲田敏昭



京成佐倉駅北口エレベーター設置について

問 京成電鉄株式会社では、今年度の鉄道事業計画で京成佐倉駅のホーム上家耐震補強、駅舎のリニューアル工事、大佐倉駅では、スロープやバリアフリーの整備が予定されているが、京成佐倉駅北口エレベーター設置についての協議とその内容を伺う。

答 今年度に入り、京成電鉄株式会社より寄宿舍の建て替え等を含む駅舎の整備に関する相談を受け、現在、設置場所や費用負担など、具体的な協議をしている。

問 バリアフリー化は、電車の営業時間に合わせるのが移動円滑化である。エレベーター設置は必要だという認識か、伺う。

答 バリアフリー化の観点からも1日も早い整備の実現が必要。地域の皆さんからも多くの要望をいただいている。協議が整い次第、速やかに報告する。

街路樹について

問 現状の管理状況について伺う。

答 定期的な剪定その他、通行支障が発生した場合はその都度対応。根上がりについては順次対応している。

問 何を基準に管理方針を策定するのか。

答 交差点付近の通行支障、電線程度の高さに抑える、間隔の狭い箇所の間引きなど、安全面・維持管理面に重点を置き策定する。



たかはし とみお
高橋とみお

公開と改革



防犯カメラによるヤードの監視を可能とする規制条例の制定に関する提案

問 昨年、佐倉市のヤードを舞台とした大規模な車両盗難事件が報道された。佐倉市では、自動車解体ヤードにおける盗難事件が過去複数回発生している。私は、2023年に言論媒体にヤード規制条例案を寄稿した。内容は、佐倉市が千葉市等、先進的な近隣市と同じレベルの条例制定をすることは当然として、佐倉市でより厳しいヤード規制条例を制定してはどうかというものだ。具体的には、ヤードの出入り口や道路、敷地内に監視カメラを設置し、設置の初期費用や運用費用をヤード経営者に負担させることと併せ、監視カメラの管理者権限を佐倉市が保有する、とする条例案だ。本条例案が佐倉市で実施されていたら、少なくとも2024年に発生した大規模な車の盗難事件は、発生し得なかったと考える。そのような反省に立ち、私が提案した条例案の評価・制定について、佐倉市の見解を伺う。

答 監視カメラによるヤードの規制のための条例制定は考えていない。

問 昨年発生した犯罪の再犯を未然に防ぐために、新たな条例制定により監視を強化する提案だった。ぜひ、今後は本件含む実効性のある新たな制度を検討してほしい。



マチイロ

スマートフォン用アプリ『マチイロ』で、佐倉市議会だよりをご覧ください。



議案賛否一覧

議決結果 可：可決／否：否決／同：同意／認：認定／○：賛成／×：反対／議：議長／欠：欠席

議案番号	議案名	議決結果	会派	さくら会												自由民主 さくら				公明党				市民ネット ワーク			日本 共産党		公開と 改革		無会派 の会		無所属
			No.	8	10	17	18	22	23	24	25	26	28	9	13	14	21	4	15	16	27	11	19	20	3	12	1	5	2	7	6		
			議員	齋藤寛之	密本成章	望月庄子	斎藤明美	敷根文裕	村田穰史	高木大輔	爲田浩	平野裕子	櫻井道明	石井秀明	徳永由美子	橋岡協美	山本英司	長谷川泰弘	押木孝和	鍋田達子	岡村芳樹	松島梢	伊藤とし子	五十嵐智美	石井昇	木崎俊行	三谷英継	高橋とみお	三井義文	宇田みおこ	稲田敏昭		
市長提出議案																																	
1	令和6年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		
2	令和6年度佐倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		
3	令和6年度佐倉市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	令和6年度佐倉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	令和6年度佐倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×			
6	令和6年度佐倉市災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	令和6年度佐倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	令和6年度佐倉市水道事業会計決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	令和6年度佐倉市下水道事業会計決算の認定について	認	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10	令和7年度佐倉市一般会計補正予算（令和7年8月25日議決）	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
11	令和7年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×			
12	令和7年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
13	令和7年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
14	職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
15	佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
16	佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
17	佐倉市消費生活センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
18	佐倉市男女平等参画推進センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○				
19	佐倉市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×			
20	佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
21	佐倉市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×			
22	佐倉市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×			
23	佐倉草ぶえの丘の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
24	佐倉市農村集会所施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
25	佐倉市スマートオフィスプレイスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×			
26	佐倉市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×			
27	旧堀田邸の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×			
28	佐倉市民音楽ホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
29	佐倉市立美術館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○			
30	佐倉市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
31	佐倉市水道法に基づく技術上の監督業務を行う者を置く水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
32	佐倉市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			
33	佐倉市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×		
34	財産の取得について（小・中学校で使用する指導者用端末及び大型提示装置の購入）	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
35	教育長の任命について（圓城寺 一雄（えんじょうじ・かずお）氏を再度任命するもの）	同	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×			
36	教育委員会委員の任命について（菅谷 義範（すげのや・よしのり）氏を再度任命するもの）	同	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
37	契約の締結について（佐倉市公園等施設外3施設LED化ESCO事業）	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×			
38	令和7年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
39	佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×								

議案に対する会派等の意見

さくら会

令和6年度一般会計歳入歳出決算に賛成

歳入については、国による定額減税の実施に伴い個人住民税が減少したが、その減収を補填する特別交付税や地方交付税の増加により、歳入全体では前年度比で増額となった。一方、物価やエネルギー価格の高騰、労務単価の上昇などにより、経常収支比率が上昇するなど財政の硬直化が懸念される。しかしながら、実質公債費比率や実質赤字比率は類似団体と比較して良好な水準にあり、財政の健全性は保たれていると判断できる。歳出面では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、低所得者世帯への給付金支給や水道基本料金の減免措置など、市民生活の安定に資する取り組みを実施した。また、医療費助成の対象年齢を高校生相当まで拡大、学校給食の主食を公費で調達するなど、子育て世帯への支援にも注力した。さらに、観光Wコア構想に基づき、城下町のにぎわい創出やふるさと広場の拡張整備を進めるとともに、道路・橋梁などの社会基盤の整備・改修にも取り組み、ソフト・ハード両面にわたる事業を、当面する課題への対応から将来への投資までバランスよく執行した点は高く評価できる。しかしながら、本市の喫緊の課題である少子高齢化や人口減少には依然として歯止めがかからず、社会保障関係費の増加や公共施設の老朽化対策に要する経費の増大などにより、厳しい財政状況が続くものと認識している。市長に対し、市民ニーズや地域課題を的確に捉えた効率的な行財政運営の一層の推進を求めるとともに、市政施行70周年を契機とした高校生など若者によるまちづくりの推進、成田空港機能拡張を地域活力の増進につなげる転機とするよう要望した。加えて、多文化共生社会の実現、新たな平和施策の検討、気候変動対策の推進、ICT活用による市民サービスの向上、介護現場のデジタル化支援による業務効率化とサービス向上など、個別施策に関する要望は、審査過程や討論において表明した。

議案第38号一般会計補正予算に賛成

京成佐倉駅バリアフリー設備、具体的には北口エレベーターの整備に向けた提案であり、多くの地域住民の声を踏まえ、今定例会のさくら会代表質問でも、その設置を再度要望したもの。駅舎再整備の機会を捉え、さまざまな状況も踏まえ交渉された結果として、市の負担は妥当と判断した。

自由民主さくら

令和6年度決算について賛成。ふるさと納税をはじめ、クラウドファンディング、ネーミングライツ、行政財産の活用や広告事業への取り組みなどは、今後ますます自治体の自主財源の確保として重要な役割を担うことから、今後もしっかりと取り組まれることを期待する。また佐倉市の未利用の土地で住宅地としての需要があるものは積極的に売却を進めること、中古住宅リフォームや近居同居住替支援事業などの住生活基本計画推進事業にはしっかりと予算をつけること、空き家の活用とともに市街化調整区域の緩和や、成田空港機能強化に向けた住宅の受け皿創出に努めていただきたい。議案第19号いわゆる「こども誰でも通園制度」は、就労要件はなく、社会との接点をつくり、保護者の子育ての不安を解消する意図もあるため、医療的ケア児や障害のある子もない子も、こども誰でも通園制度を利用できるような提供体制の整備を求め賛成。

公明党

令和6年度一般会計歳入歳出決算に賛成

いまだ物価高騰が続く中、市民生活の安定に向けて、安心・安全で健康な生活が守られるよう福祉の増進に努めているか、最小の経費で最大の効果があげられているか、合理化や規模の適正化が図られているか、の3点に重きを置き審議した。その結果、物価高騰対策や人口減少・少子高齢化の対策、地震や自然災害対策、公共施設や道路・橋梁の整備、上下水道整備や公共インフラ対策全般にわたり、予算執行に見合う成果について確認できた。特に、各臨時給付金支給事業・支援金支給事業の市独自給付分、水道事業基本料金の減免、子育て環境の整備や学校給食の主食の公費調達、国の定期接種化に先駆け、带状疱疹ワクチン接種費用の市独自助成、自転車ヘルメット購入助成事業など、公明党からの要望や提言に基づいた事業であり高く評価する。

市民ネットワーク

議案第16号コミュニティセンター、17号消費生活センター、20号学童保育所、22号公民館、23号草ぶえの丘、24号農村集会施設、28号音楽ホールの使用料、利用料の値上げに反対。近年の物価高騰で厳しい生活が続く中、市民活動の縮小や健康増進などへの影響が危惧され、市民に寄り添った市政運営とは言えない。議案第21号南部

保健センターの廃止は、市民サービスの低下につながるため反対。議案第32号は水道料金の値上げに反対。令和12年度に霞ヶ浦導水が完成すれば、暫定井戸の利用停止により、さらに30億円かけて受水設備が必要となり、水道料金に跳ね返る。不要な霞ヶ浦導水事業からの撤退を求める。

日本共産党

物価高騰に苦しむ市民生活を見捨てる議案、国の大企業富裕層優遇税制、軍拡が根底に。京成佐倉駅北口エレベーターは住民力で。公民館、コミュニティセンター等各施設の使用料、利用料の値上げ、水道料金の値上げは物価高で苦しむ市民に実施するもの。これは「利用者が費用を負担すべき」という政府の方針に従うもので反対。保育士資格の緩和による「こども誰でも通園制度」は、アレルギー対応等に不安があり反対。

公開と改革

令和6年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定に賛成

限られた財源を効率よく活用し、最小の経費で最大限の効果を上げ、市民の皆さまへ還元していくためには、各事業の目的、効果を検証し、事業内容の変更、事業の廃止など、適正化、効率化に向けた今後の見直しは不可欠であるとする。また、各事業の効果を最大限に発揮するためには、担当部署による縦割りの解消、市長のリーダーシップが重要であるとする。

無会派の会

令和6年度決算に賛成

実質単年度収支は赤字だが執行率91.6%と事業は着実に進んだ。一方契約事務の基本的ミスが定期監査で多数指摘された。経常収支比率95.6%と財政の硬直化が進み、事業の再構築が必要。**手数料等改定による条例改正には反対**。受益者負担の原則による改定とはいえ、市民サービスや生活実態への配慮が欠けている。京成佐倉駅北口のエレベーター設置は、市民の長年の要望であり、賛成する。

会派に属さない議員

議席6番

議案第38号に賛成

京成佐倉駅北口のエレベーター設置の実現は、高齢者をはじめ、身体の不自由な方など多くの市民が声を上げ、待ち望んだもの。移動の円滑化で、社会参加の機会が増えることを期待する。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

佐倉市議会のホームページ
もご覧ください。



委員会報告

※議案は市長提出議案 ◎委員長 ○副委員長
審査結果欄 可：可決

総務常任委員会

審査結果

議案10	議案11	議案14	議案15	議案16
可	可	可	可	可
議案17	議案18	議案34		
可	可	可		

開催日：令和7年8月25日、9月8日 場所：第四、第三委員会室
委員：◎斎藤明美／○齋藤寛之／三井義文／長谷川泰弘／石井秀明／五十嵐智美／村田穰史

付帯意見

使用料・手数料については、受益者負担の適正化を図るとともに、社会経済状況の変化を踏まえ定期的な見直しが必要である。料金改定に当たっては、合理的で、公平性・納得性のある料金水準となるよう努め、市民の理解が得られるよう、十分かつ丁寧な周知・説明を行っていただきたい。



文教福祉常任委員会

審査結果

議案10	議案11	議案13	議案19	議案20
可	可	可	可	可
議案21	議案22	議案39	議案40	議案41
可	可	可	可	可

開催日：令和7年8月25日、9月9日・24日 場所：第三委員会室
委員：◎平野裕子／○押木孝和／高橋とみお／木崎俊行／望月圧子／山本英司／高木大輔



経済環境常任委員会

審査結果

議案11	議案12	議案23	議案24	議案25
可	可	可	可	可
議案26	議案27	議案28	議案29	
可	可	可	可	

開催日：令和7年9月10日 場所：第三委員会室
委員：◎敷根文裕／○徳永由美子／三谷英継／石井 昇／松島 梢／岡村芳樹／櫻井道明



建設常任委員会

審査結果

議案11	議案30	議案31	議案32	議案33
可	可	可	可	可
議案37	議案38	議案42		
可	可	可		

開催日：令和7年9月11日・24日 場所：第三、第一委員会室
委員：◎爲田 浩／○鍋田達子／稲田敏昭／宇田みおこ／密本成章／橋岡協美／伊藤とし子

付帯意見

水道料金の改定は、社会情勢等を踏まえ慎重に判断すべき課題であるが、継続的かつ安定的な水供給を維持するためには、将来を見据えた責任ある対応として必要不可欠である。改定にあたっては、その背景や必要性について丁寧に説明し、市民や企業の理解を得ながら着実に進めていただきたい。また、改定による影響が大きいと見込まれる方々には、適切な支援が行き届くよう十分配慮願いたい。



議案を
PICK
UP!

議案第 38 号

京成佐倉駅バリアフリー設備整備費補助事業

京成電鉄では駅舎のリニューアル工事にあわせて、京成佐倉駅北口にエレベーターを新設します。

市では、バリアフリー化の推進のため、整備費用の一部を補助することとし、市議会では関連予算を可決しました。

議案第 10 号

高齢者外出支援事業
(物価高騰対応分)

物価高騰の影響を受けている高齢者への生活支援の一環として、タクシー助成券を交付するための予算を可決しました。

*詳細はこうほう佐倉、市 HP 等をご確認ください。

11月定例会の予定

議会運営委員会

招集日

一般質問

常任委員会

最終日

11月18日(火)

11月25日(火)午後1時から

12月 1日(月)～ 4日(木)

12月 8日(月)～11日(木)

12月15日(月)午後1時から

陳情・請願の提出期限

陳情提出期限

請願提出期限

11月11日(火)午後5時

11月17日(月)午後5時

定例会の予定は変更になることがあります。

議会事務局

詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL.043-484-6254

本会議(招集日・一般質問・最終日)の映像について

開催時間中はインターネットでライブ中継。翌日、午後5時30分からCATV放映。おおむね7日後以降は録画中継を配信(予定)

お子さま連れ
で議会傍聴へ

対象児

利用日

利用料

申込期限

利用方法

生後6か月以上で就学前のお子さま

本会議の一般質問のみ
※傍聴者おひとりにつき1日2時間まで

無料

各定例会の招集日午後5時まで

佐倉市議会事務局までお電話ください
【議会事務局】TEL.043-484-6254

議会百景

議会の情報発信のため、昨年の委員から佐倉市議会公式SNSを作成しよう、という提案があった。議案に対する議員ごとの賛否理由を、市民にしっかり届ける工夫の一つとして検討したい。

(広報公聴委員 高橋 とみお)

早いもので広報公聴委員7年目を迎えました。市民の皆さまに伝わりやすい紙面づくりを心がけています。これからも、開かれた議会の実現に向けて歩みを進めます。皆さまのご意見をお待ちしています。

(広報公聴委員 宇田 みおこ)

議会だよりは、限られた紙面の中で、定例会の内容を抜粋し、お届けしています。また、一般質問などの本会議の映像は、市議会のホームページでご視聴いただけますので、興味を持たれた方は是非ご覧ください。

(広報公聴委員 齋藤 寛之)